

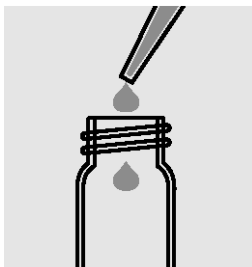
# 塩素(全塩素)vario

プログラム番号

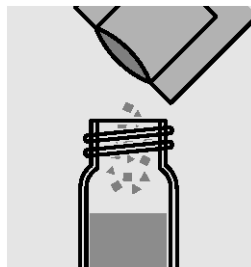
**7327**

|           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| WTW モデル番号 | CI2-3 TP                       |
| 分類:       | RS(試薬試験)                       |
| セル:       | 20 mm                          |
| 測定範囲:     | 0.02~2.00 mg/l Cl <sub>2</sub> |
|           | mmol/l 表示が可能                   |

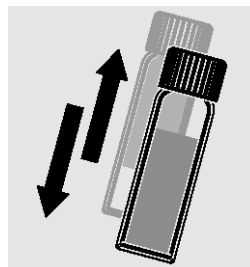
注: お使いの光度計による試験を利用する前に、試薬ブランク値を測定してください。



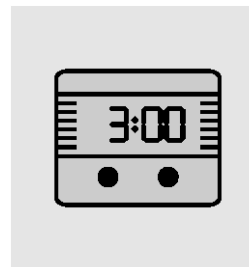
1. ピペットで 10.0ml の試料を取り、空のセルに入れます。



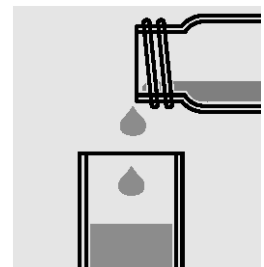
2. VARIO 塩素全 DPD PP 粉末パックの中身を加え、ねじぶたでセルを閉じます。



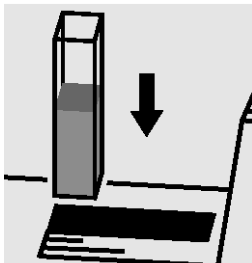
3. セルをよく振とうして、固体物を溶かします。固体物が少量溶け残ることがあります。



4. 3 分間放置して反応させます。



5. 溶液を測定セルに入れます。



6. セルを光度計セルシャフトに挿入し、測定を開始してください。

## 注:

- 各試験パッケージを開始する都度、直前に新しい試薬のブランク値(試料の代わりに脱イオン水)を測定することを推奨します。
- 試料水はピンク色でなければなりません。試料の塩素濃度が極めて高い場合、溶液の色は黄色になり、測定値が極めて低くなります。この場合は試料を希釈してください。
- 全塩素の測定後は毎回、25%硫酸でセルをすすいでから、蒸留水で数回すすぎます。

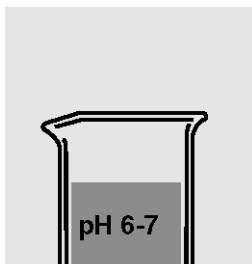
# 塩素(全塩素)vario

プログラム番号

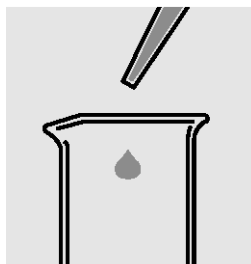
**7328**

|           |                              |
|-----------|------------------------------|
| WTW モデル番号 | Cl2-4 TP                     |
| 分類:       | RS(試薬試験)                     |
| セル:       | 20 mm                        |
| 測定範囲:     | 0.5~5.0 mg/l Cl <sub>2</sub> |
|           | mmol/l 表示が可能                 |

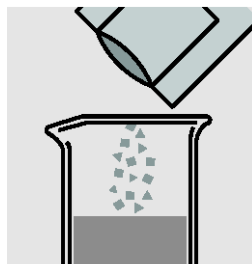
注: お使いの光度計による試験を利用する前に、試薬ブランク値を測定してください。



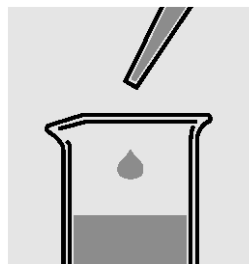
1. 試料の pH 値をチェックします。  
必要範囲: pH 6~7。  
必要に応じて水酸化ナトリウム水溶液または硫酸で補正してください。



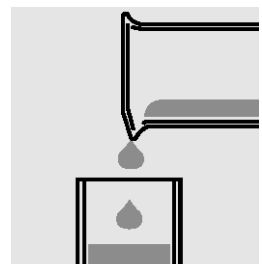
2. ピペットで 10.0ml の試料を取り、空のビーカーに入れます。



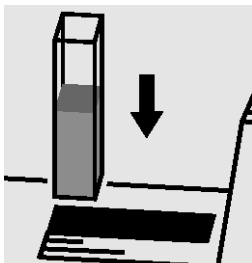
3. **VARIO 塩素全 DPD F25ml** 粉末パックの中身を加え、攪拌して溶かします。



4. ピペットで 15.0ml の脱イオン水を加えて攪拌します。



5. 溶液を測定セルに入れます。



6. セルを光度計セルシャフトに挿入し、測定を開始してください。

## 注:

- 各試験パッケージを開始する都度、直前に新しい試薬のブランク値(試料の代わりに脱イオン水)を測定することを推奨します。
- 試料水はピンク色でなければなりません。試料の塩素濃度が極めて高い場合、溶液の色は黄色になり、測定値が極めて低くなります。この場合は試料を希釈してください。
- 全塩素の測定後は毎回、25%硫酸でセルをすすいでから、蒸留水で数回すすぎます。